

# 街の活力は 自立と創造から

# あのまちこの街

## 維新をテーマに活性化

### 萩市（山口県）との交流事業 地域づくり活動で生き残りへ

#### 幕末の志士・吉田松陰ら イベントなどに取り入れる

#### 名所「松陰神社」を活用

路面電車（東豊世田谷線）が走る世田谷区若林は、三軒茶屋・下高井戸を結ぶ都内有数の閑静な住宅街である。松陰神社通り松栄会商店街は、振興組合設立時は百五十三店舗だったが、周辺の区画整理で百四十八店舗になってしまった。同商店街には行政機関などの建物や国士館大学があり、昼間の人口は多く交通量もあるが、休日や夜間になると激減してしまう。

平成四年から本格的に始まった萩市との交流事業では、市商工会議所観光協会、物産協会、焼物協会等とも交流するようになった。

#### 10年以上続く幕末維新祭り

この松陰神社を広く周知させることで、商店街発展につなげないかと検討していった。さらに山口県萩市との交流を試みた。世田谷区と萩市商工会議所に主旨を説明。東京都商店街振興組合連合会の商店街交流事業援助資金を得ることができた。

平成四年から開催している「幕末維新祭り」は、十月第四土・日曜の十時から午後七時まで歩行者天国にして実施する。十二回目を数えた昨年はユニークな企画が登場。奇兵隊と幕末の志士パレードでは、国士館大学吹奏楽部のブラスバンドが

先導した。幕末野外劇「散華」は書き下ろしのオリジナル脚本。上演は昼夜二回ずつ行なわれた。若手の落語家による幕末寄席には国士館大学の落語研究会も参加した。

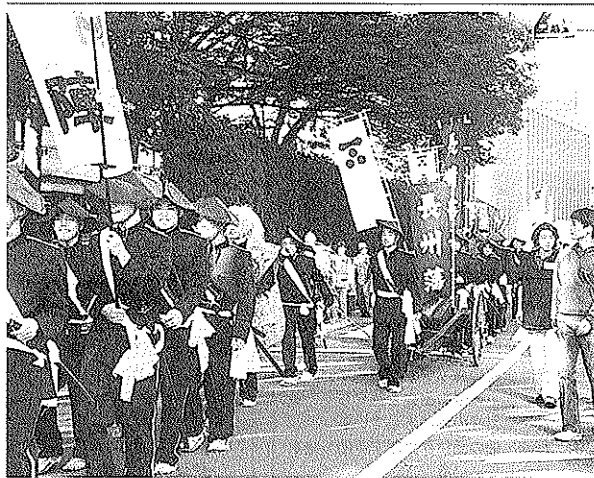
また「ギターと歌で綴る日本と中国」では、世界中で活躍している日本人ギタリストや、中国から数々の賞に輝く歌手を招いてのコンサートを入場無料で実施した。萩市の観光物産展は萩焼・海産物・夏みかん・菓子・地酒などを神社鳥居横で販売。会津若松から白虎隊踊りなどが初参加した。

松陰神社通り松栄会のイベントの目玉でもあり「商店街大ビンゴ大会」は二日間行なった。ビンゴの当日券（百円）は、午後三時から会場販売された。事前に加盟店で購入できるが、当日は列ができるほどだった。特賞に十四インチテレビといった豪華景品を用意。特賞は両日とも設定で出来るようになった。

松陰神社通り松栄会の人物を起用。「シヨーン君」「シンサク君」「ゲンズイ君」の三パターンがある。どれの売り上げだったが、現在では二十七店、五百万円に減少している。現行は、三種のシリーズで変化をつけている。キャラクターには歴史上

世田谷区の三商店街が周辺の清掃を実施。参加者に「せたがやポイント」五百円分を配布した。昨年、鳥山駅前通りなど四商店街で、買い物スリッパを地域通貨に見立てた実験を試みた。可能性を確信していた。今後は各商店街が独自に実施する地域活動に地域通貨を配布し、商店街の振興に役立てていきたいとしている。

長州藩の下級藩士の家に生まれた吉田松陰は、半農半士の生活だった。山鹿（やまが）の流の軍学の師範であった叔父の吉田賢良の養子となつて家を継いだ。十一歳の年には藩主の前で「武教全書」を講じた秀才だった。十六歳のころから世界情勢に関心をもち、日本の運命に憂いを抱くようになった。二十三歳の時には脱藩の罪を犯して浪人になった。その後洋学に打ち込み、密航をくりわだてて獄中の人と



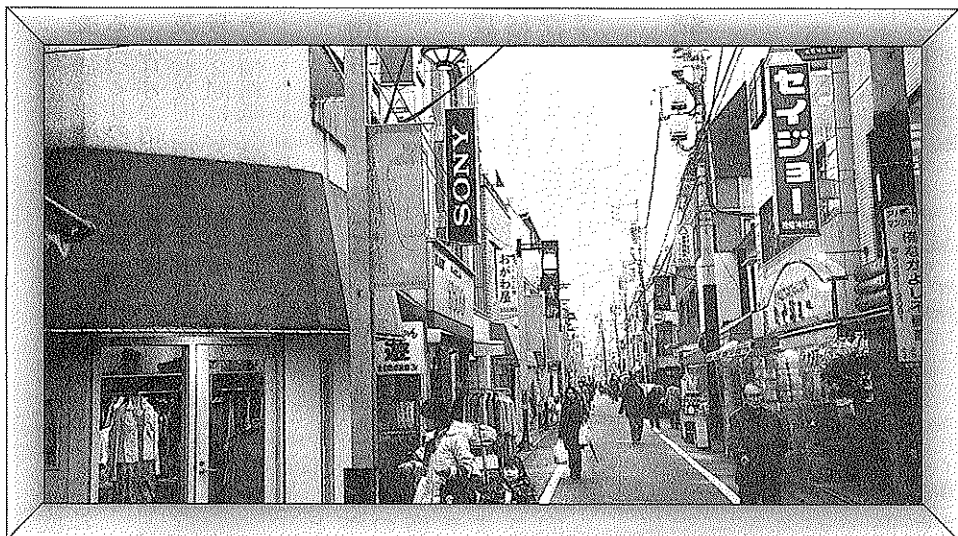
奇兵隊、志士のパレードが登場する幕末維新祭り



幕末維新祭りでは萩市の観光物産展も好評だ



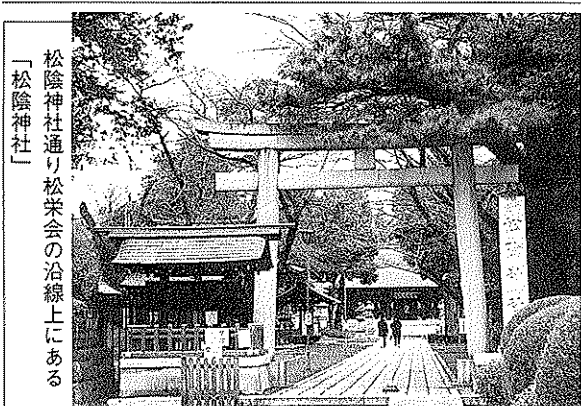
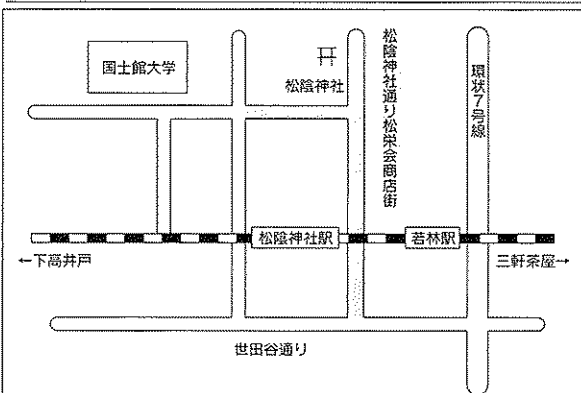
世田谷線の車両に展示された地元小学生の絵画



## 松陰神社通り松栄会 商店街振興組合 東京都世田谷区



東京都世田谷区の名刺を得て同年十月に「第一回萩・世田谷幕末維新祭り」を開催した。任意団体として設立されたのが昭和十五年。街区内には世田谷役所、世田谷税務署、都税事務所、保健所、法務局など行政機関があり、昼間の人口はかなりの多い。幕末の志士「吉田松陰」をまつた松陰神社があることは、地元住民にもあまり知られていなかった。昭和六十六年振興組合に組織替えし、平成元年にスタンプ事業を開始した。商店街活性化を模索するなか、松陰神社に注目。平成三年に山口県萩市を訪問し商店街交流事業援助資金を得て同市との交流が始まった。同四年には萩市、萩商工会議所などから協



松陰神社通り松栄会の街路灯には、様々なフラグが掛かっている。取材時には吉田松陰の顔をデザインしたもののがはためいていた。

#### スタンプ事業は苦戦

松陰神社通り松栄会のスタンプ事業は、平成七年の開始当初は加盟店七十二店、約二千七百万円の売り上げだったが、現在は二十七店、五百万円に減少している。現行は、三種のシリーズで変化をつけている。キャラクターには歴史上

#### 地域交流を盛んに実施

世田谷区の三商店街が周辺の清掃を実施。参加者に「せたがやポイント」五百円分を配布した。昨年、鳥山駅前通りなど四商店街で、買い物スリッパを地域通貨に見立てた実験を試みた。可能性を確信していた。今後は各商店街が独自に実施する地域活動に地域通貨を配布し、商店街の振興に役立てていきたいとしている。

#### コラム

長州藩の下級藩士の家に生まれた吉田松陰は、半農半士の生活だった。山鹿（やまが）の流の軍学の師範であった叔父の吉田賢良の養子となつて家を継いだ。十一歳の年には藩主の前で「武教全書」を講じた秀才だった。十六歳のころから世界情勢に関心をもち、日本の運命に憂いを抱くようになった。二十三歳の時には脱藩の罪を犯して浪人になった。その後洋学に打ち込み、密航をくりわだてて獄中の人と